

IX 参考資料

自社システム構築等のご参考としていただくため、以下の資料を参考資料として収録しております。

- ・UOM（メール型宛先管理）業務機能強化の概要及び設定例
共通編「GW配下用パッケージソフトの廃止」に関する、メール処理方式をご利用のお客様向けの内容です。
- ・輸出入申告における入力項目の見直し（輸入申告）
- ・輸出入申告における入力項目の見直し（輸出申告）
輸出入申告事項登録における変更内容の一覧を示した内容です。

UOM（メール型宛先管理）業務機能強化の概要及び設定例

【GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)をご利用中のお客様】

GW配下用パッケージソフト(メール処理方式)を提供終了に伴い、メール型宛先管理登録(UOM)業務の機能を強化します。

- ・ UOM業務では、INQ/EXZ型電文の宛先が設定可能です。
- ・ メール処理方式で送信したINQ/EXZ型帳票電文はnetNACCS等パッケージソフトへの出力も可能としておりますが、第7次NACCSではnetNACCS等パッケージソフトを出力先とした場合、メールボックスにも出力を追加することができます。

UOM業務設定画面イメージ

—略—

利用者ID * XXXXXX11

出力情報コード 888888

メールボックスID・出力端末名 XXXXXW

出力先種別

M:メール
E: EDIFACT
I:パッケージソフト

出力端末設定時、追加出力先メールボックスID XXXXXXXXXX

※EXC型電文(非同期電文)はUOM業務の設定対象外です。
また、出力先はメールボックスと端末のいずれかの宛先のみ設定が可能です。

「メールボックスID・出力端末名」に端末 (I:パッケージソフト) を指定した場合に追加出力先のメールボックスIDを設定可能

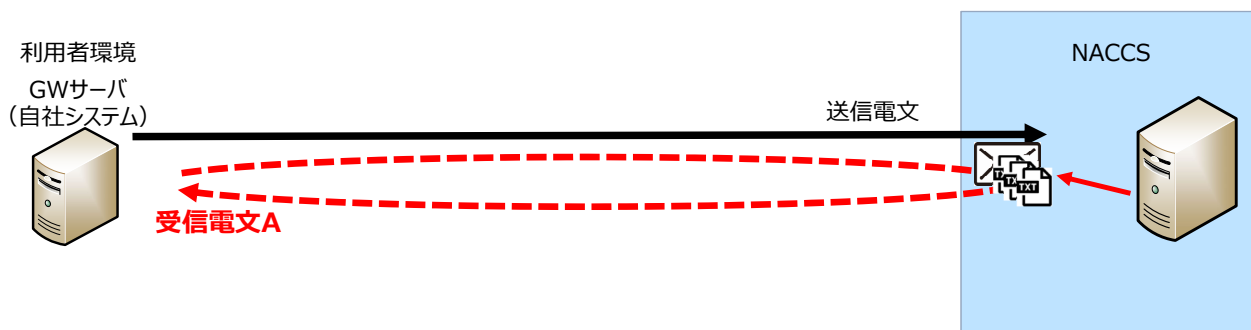
出力情報に応じた設定例は次頁以降をご参照ください。

[用語説明：INQ型電文・・・業務送信を契機に出力され、送信時の端末と同一の端末に出力する電文]

UOM（メール型宛先管理）業務で設定する出力情報コード

【INQ/EXZ型電文…業務送信した端末に出力される電文（下図点線の受信電文A）】

- 利用者ID(8桁)毎に宛先設定が必要です。
- 出力情報コードのバスケットコード「999999」は必ずメールボックスへの設定となります。



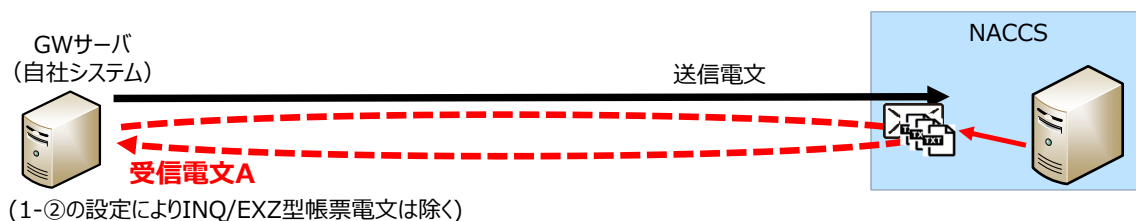
出力情報コードに設定可能なコード

- 999999：処理結果通知電文、画面電文、帳票電文を含む全てのINQ/EXZ型電文（バスケットコード）
 - 888888：INQ/EXZ型の帳票電文（バスケットコード）
 - 個別出力情報コード
- ※電文出力先の優先順位は、①個別出力情報コード、②888888、③999999の順番となります。

■設定例① INQ/EXZ型帳票電文を全てパッケージソフトに出力する設定例

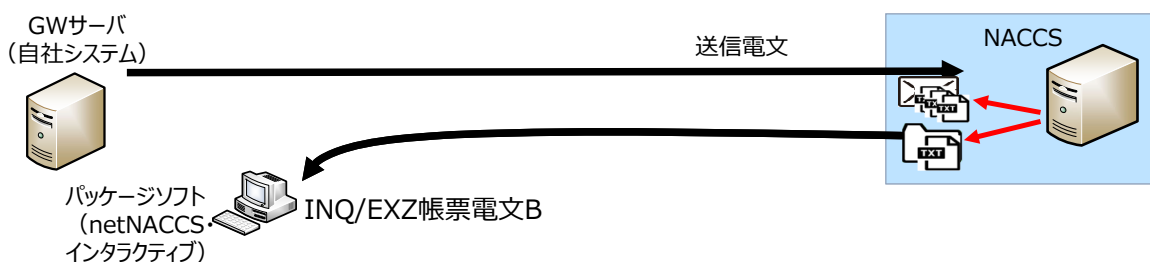
1-①

出力情報コード：999999
出力先：メールボックスA

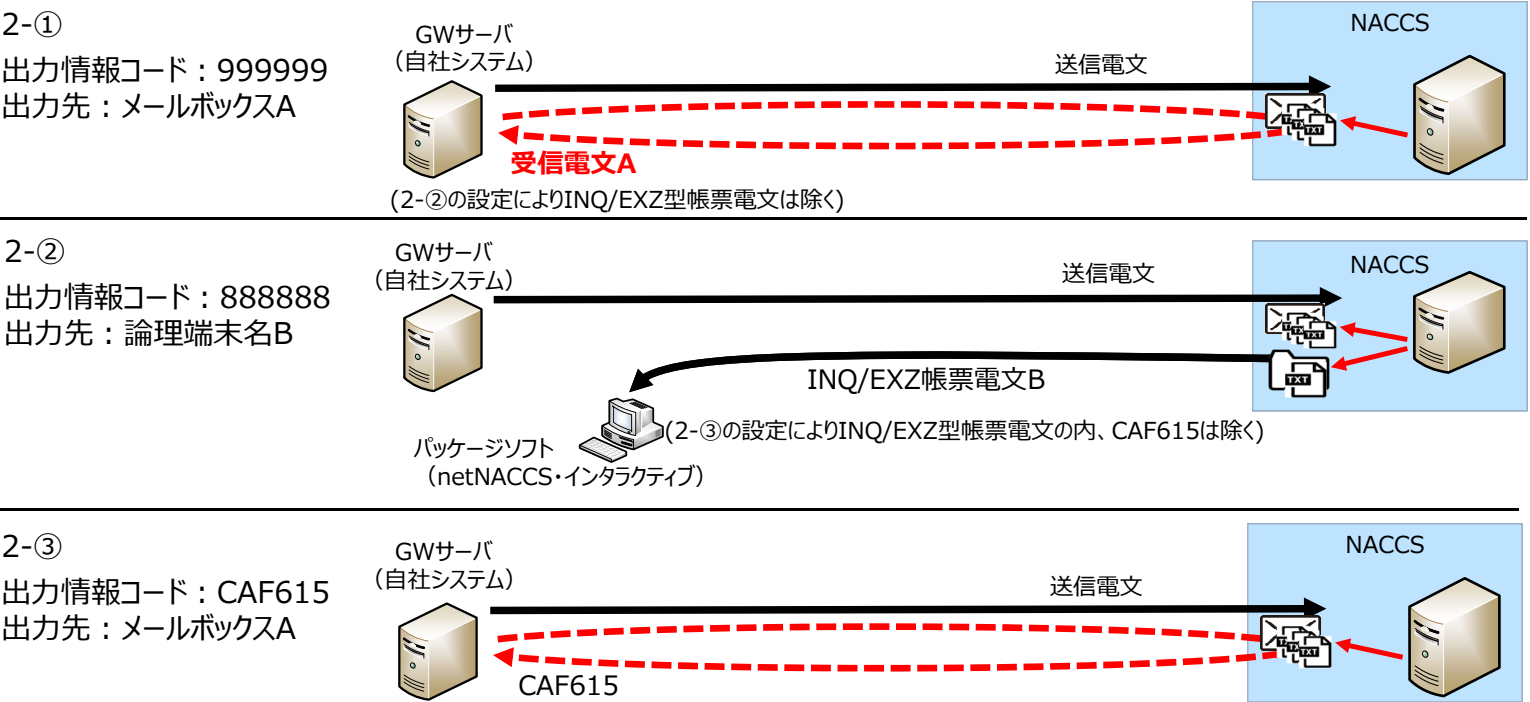


1-②

出力情報コード：888888
出力先：論理端末名B



■ 設定例② INQ/EXZ型帳票電文の大半をパッケージソフトに出力し、一部帳票電文をメールボックスに出力する設定例



■ 設定例③ 出力先をパッケージソフトに設定したINQ/EXZ型帳票電文をメールボックスにも追加出力する設定例 (第7次NACCSより設定可能なパターン)

